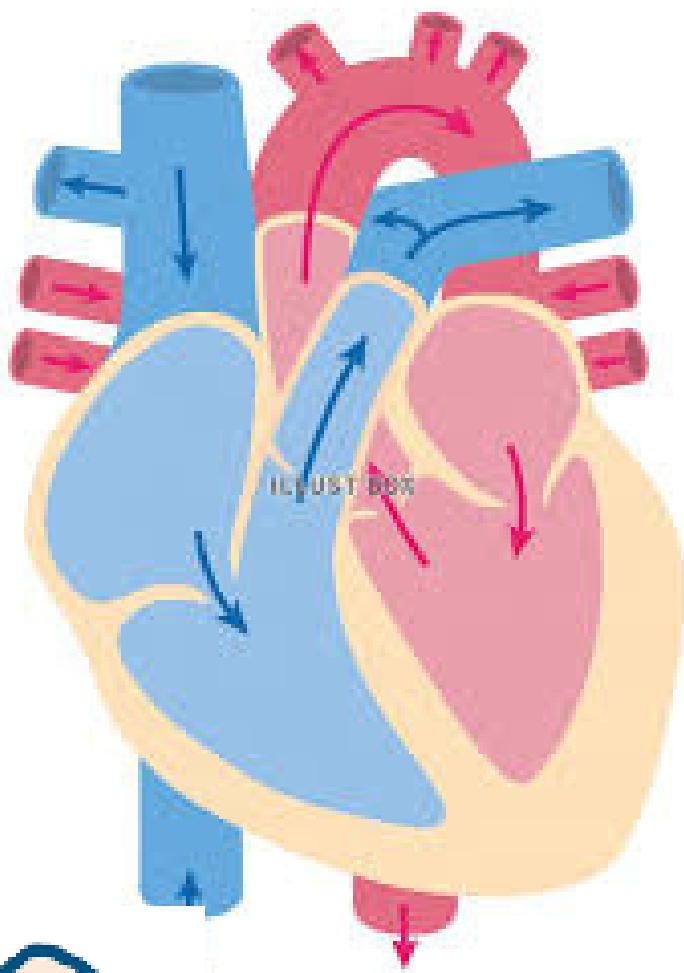
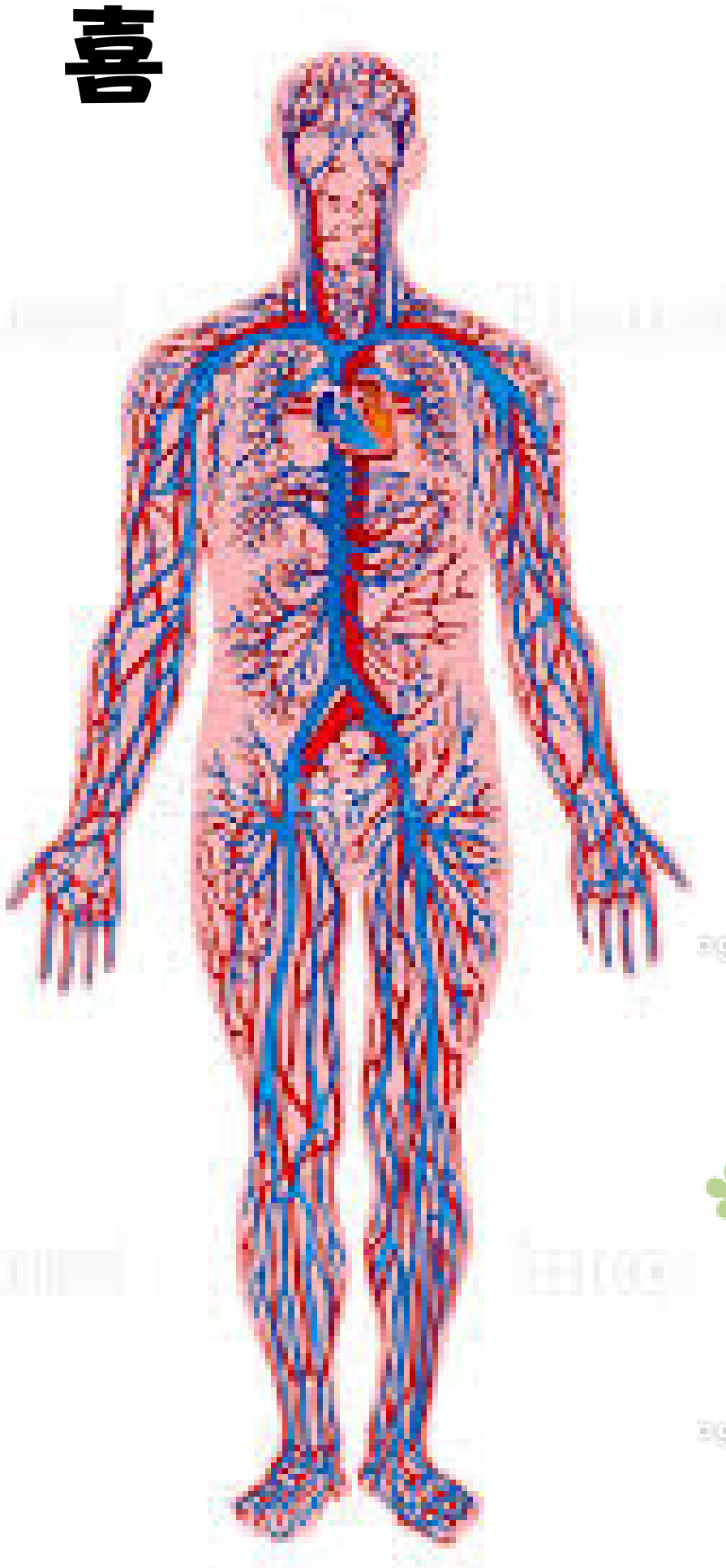
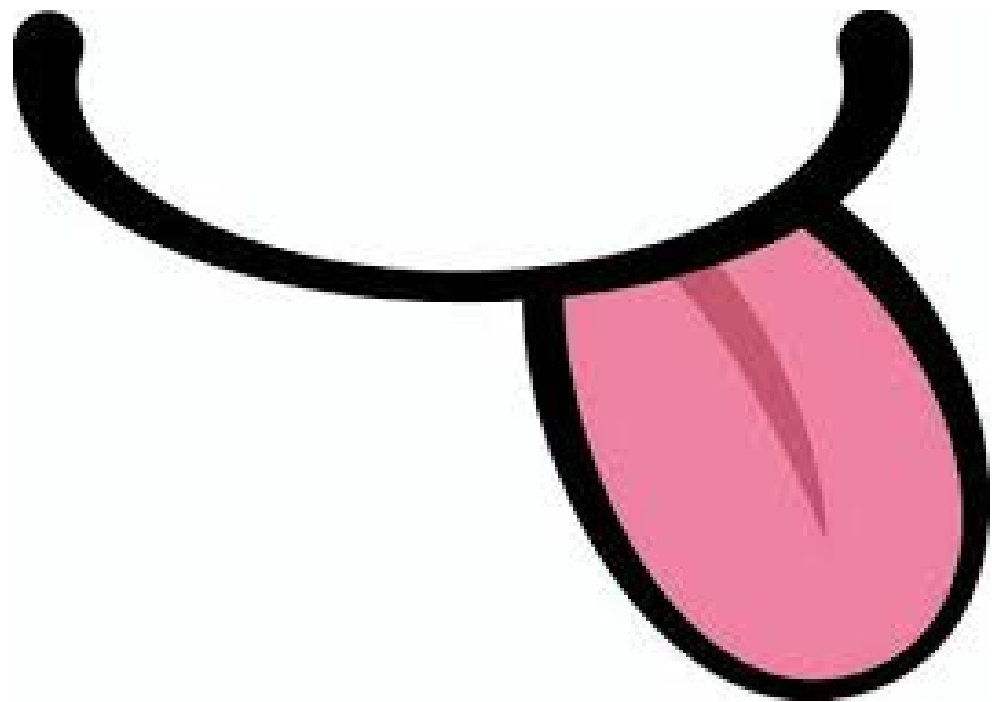


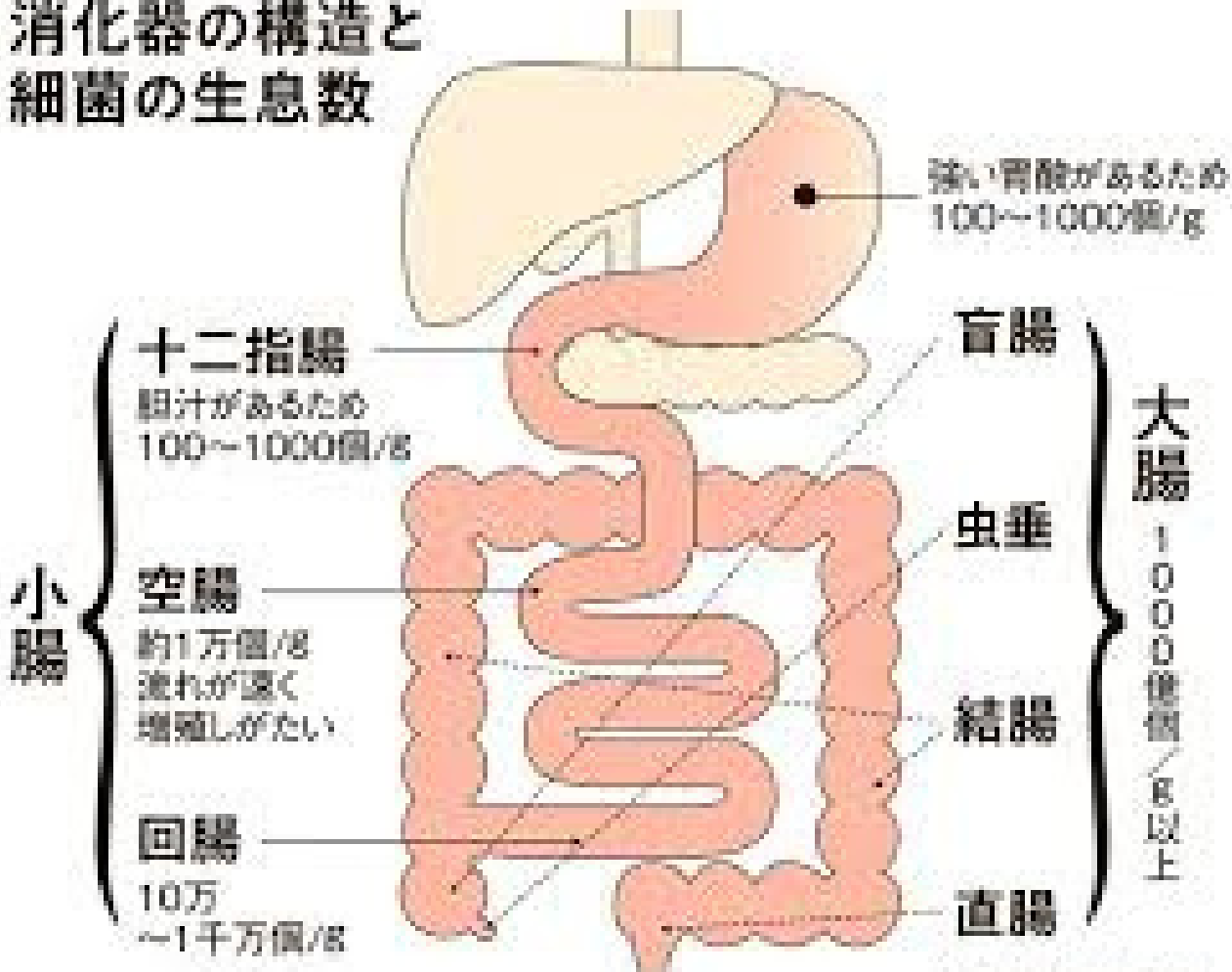
陰陽五行說【火】

火 心臟 小腸 舌 脈 喜

火 心 小腸 舌 脈 喜

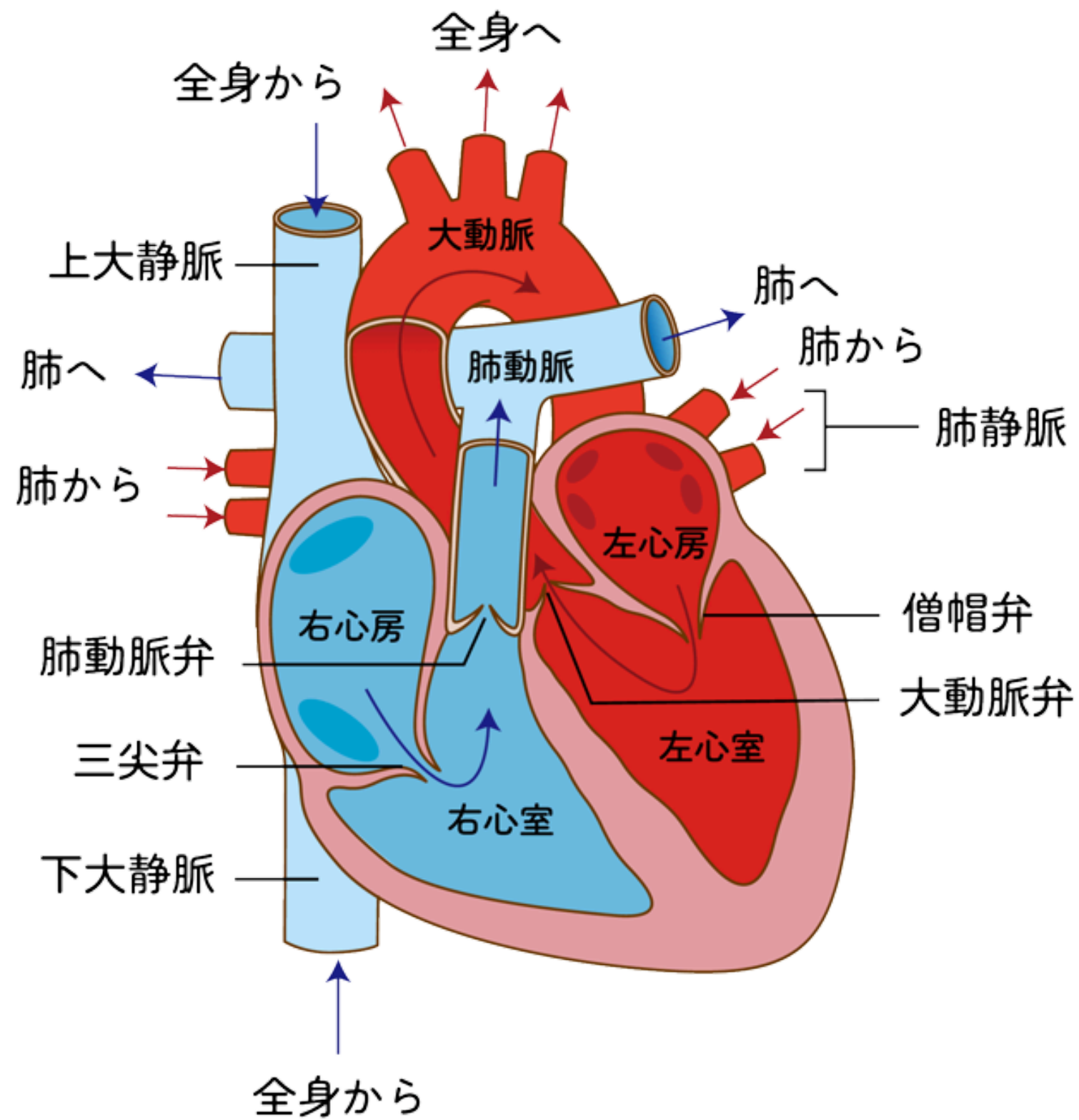


消化器の構造と細菌の生息数



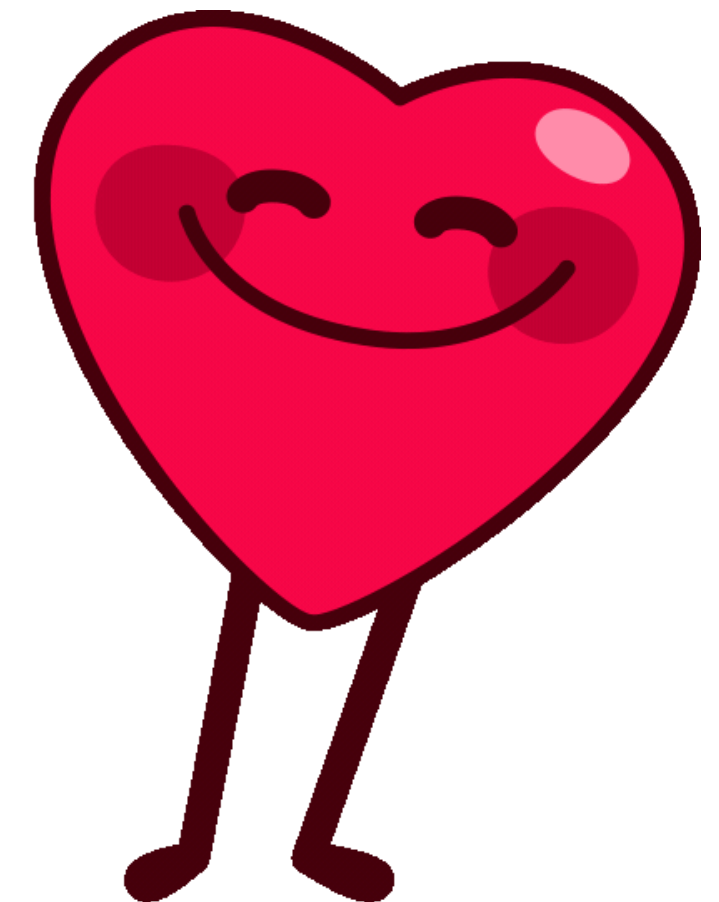
出典：松本健男先生資料

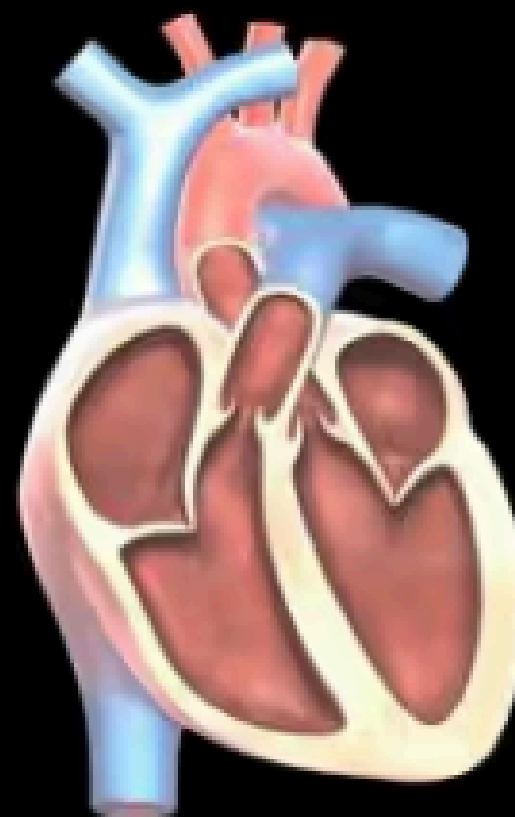




心臓は全身に血液を循環させる臓器
心臓は4つの部屋に分かれている
心臓の上半分の部屋を心房、下半分の部屋を心室。 全身からかえってきた血液はまず「右心房」に入り、「右心室」を経て肺に送り出されます。肺で酸素をもらった血液は「左心房」に入り、「左心室」から全身に送り出されます。血液が一方向に流れるように、部屋と部屋の間「弁」という扉がついています。

- ♥ **心臓は胸のほぼ中央(左寄り)に位置し、肺の間に位置します**
 - ♥ **成人の心臓は握りこぶしよりやや大きく、約200～300gです。**
 - ♥ **1分間に約60～80回拍動**
 - ♥ **1回の収縮で約60～80mLの血液を全身に送り出しています。**
- 心臓は、規則正しい一定のリズムで拍動を続ける**
- ♥ **全身に血液を効率よく循環させています。**
 - ♥ **心臓のどちらの役割が失われても
からだに支障をきたします。**





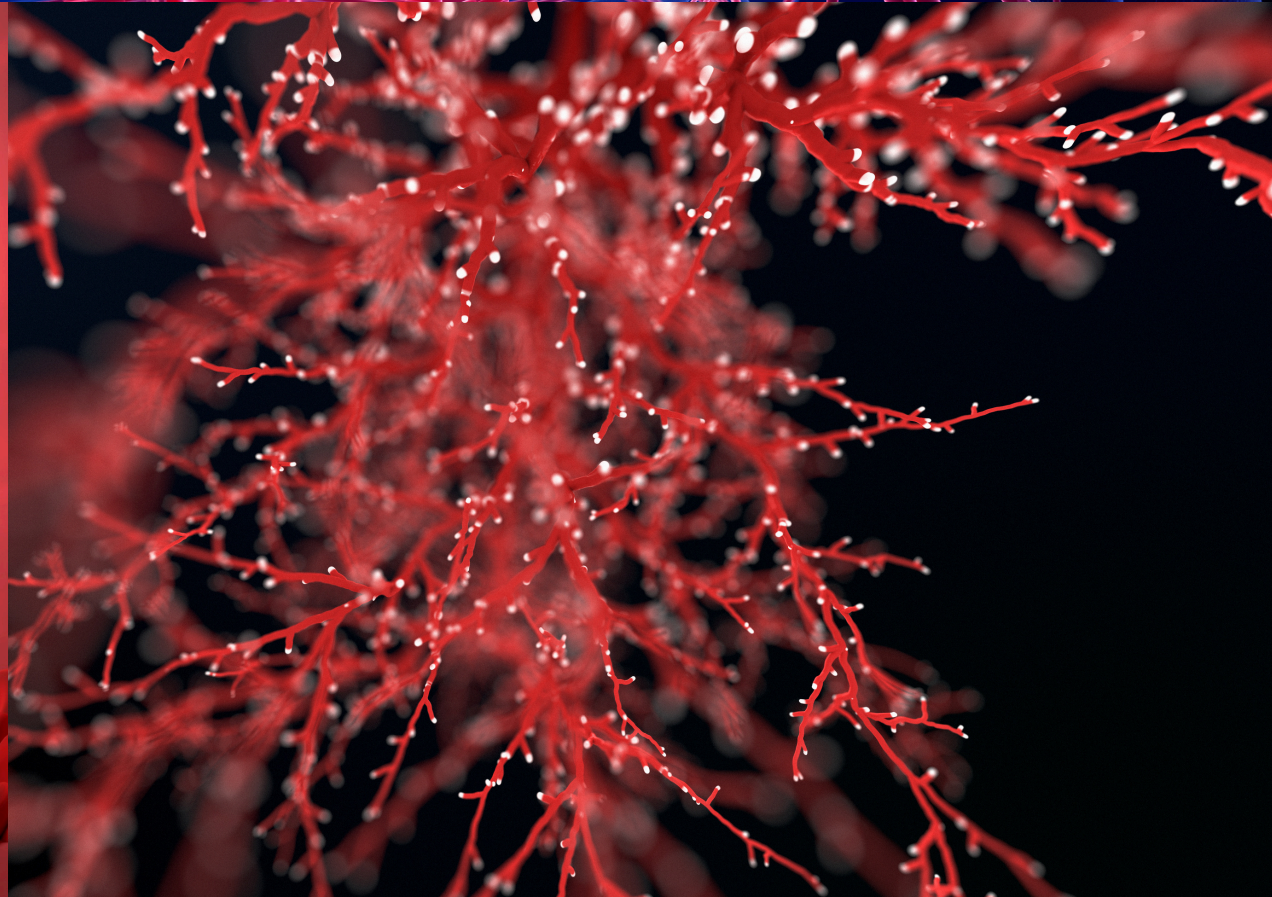
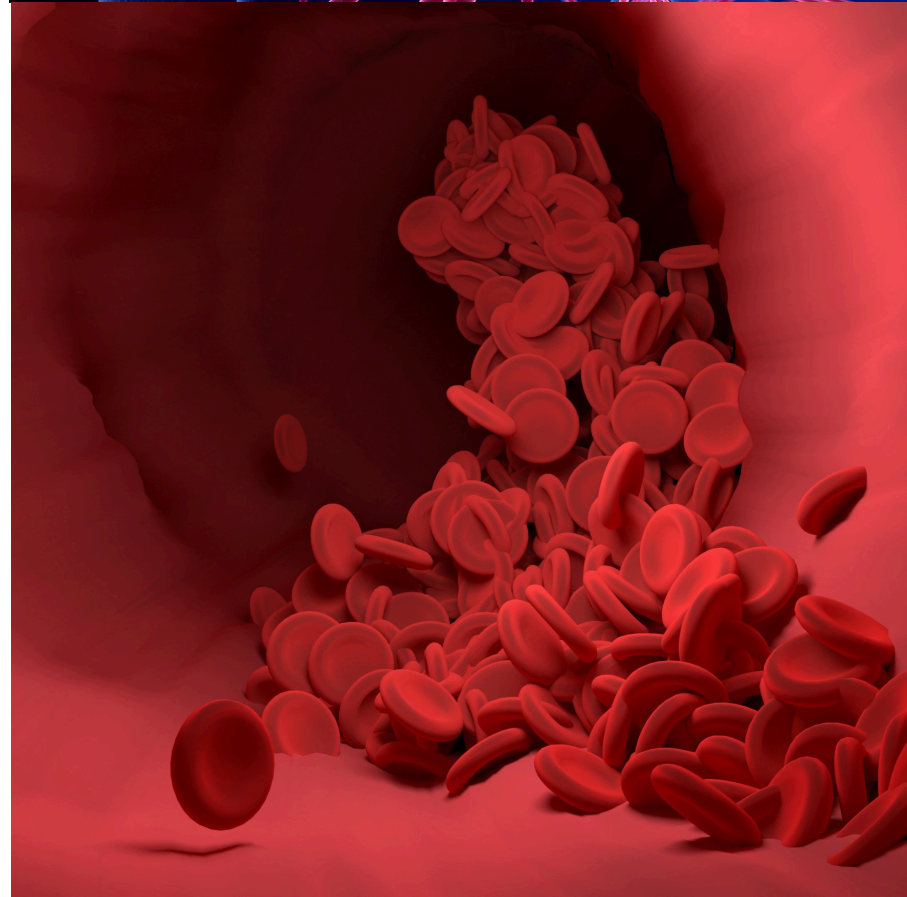
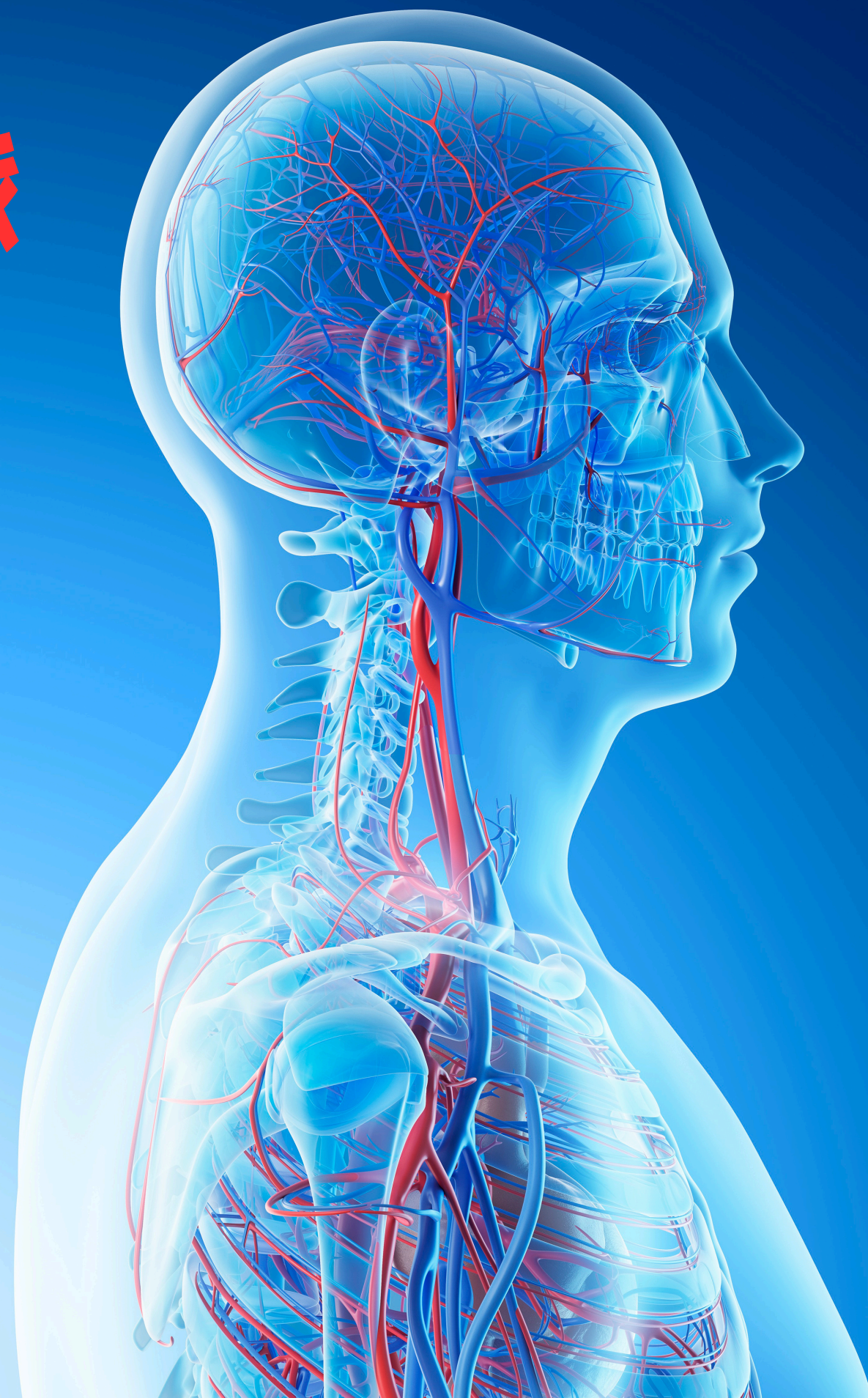
心臓と血液の通り道

血液を送り出すポンプ・心臓の仕組みをCG映像とさまざまな特殊撮影で紹介します。



NHK for School

血管 脈



血管

血液を全身に送り届けて酸素や栄養を供給し、二酸化炭素や老廃物を回収する。

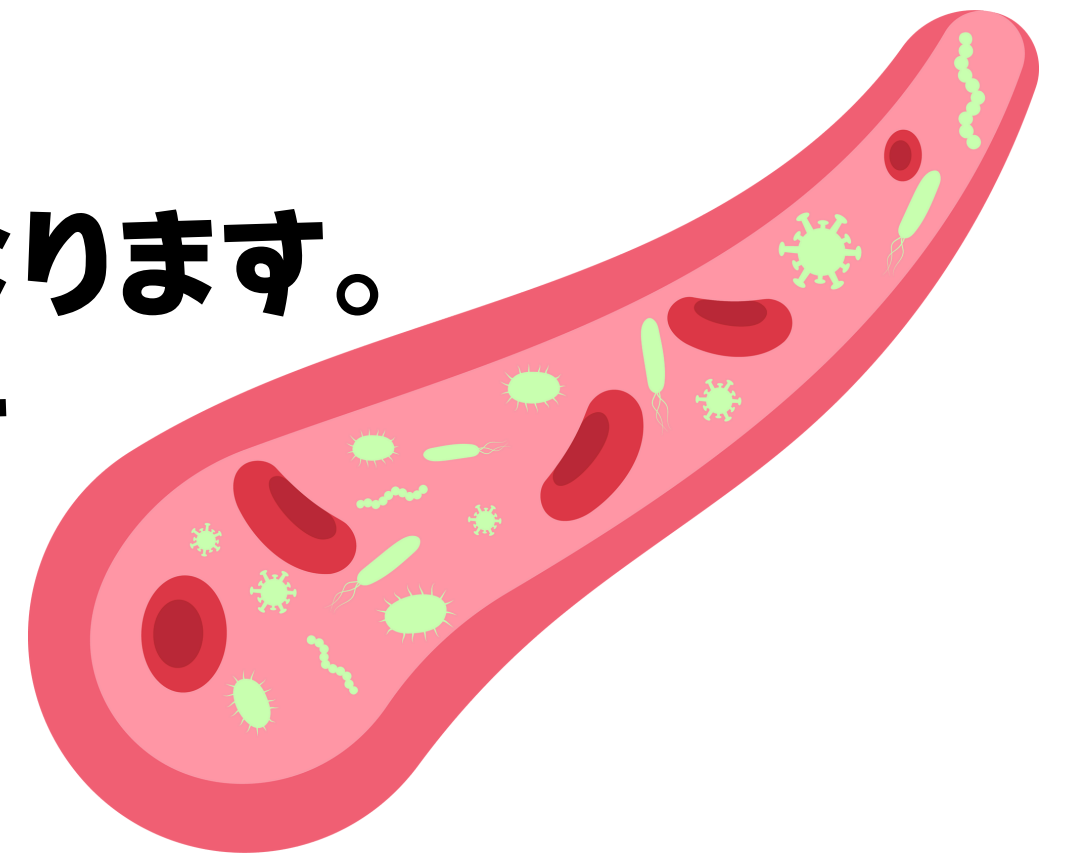
血管は生物の生命線。

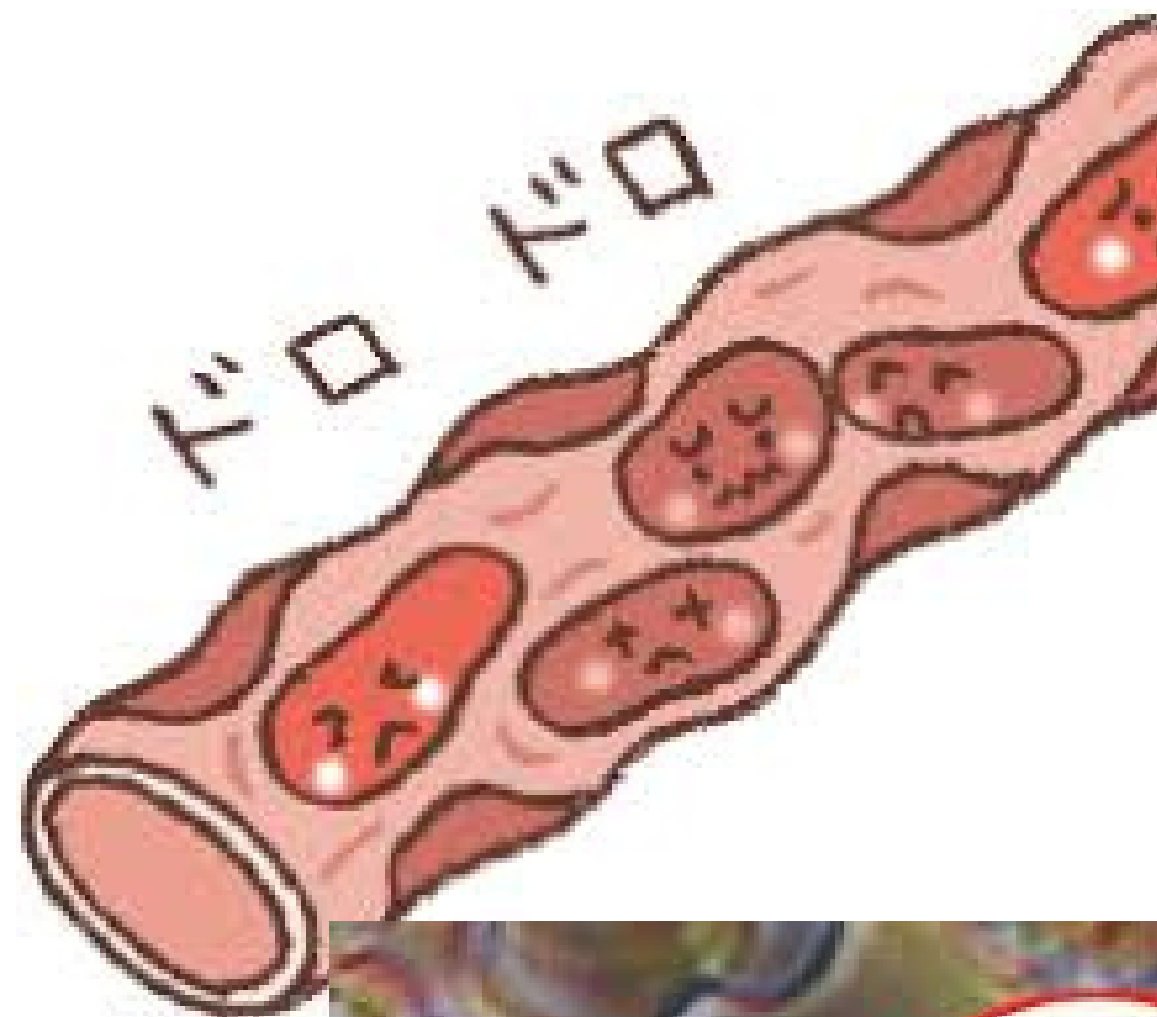
血管には、心臓から血液を送り出す動脈と、血液を心臓に戻す静脈の2種類があります。

体の末端まで張り巡らされている血管の長さは、地球2周半、細胞や組織のすみずみに酸素や栄養を届けます。

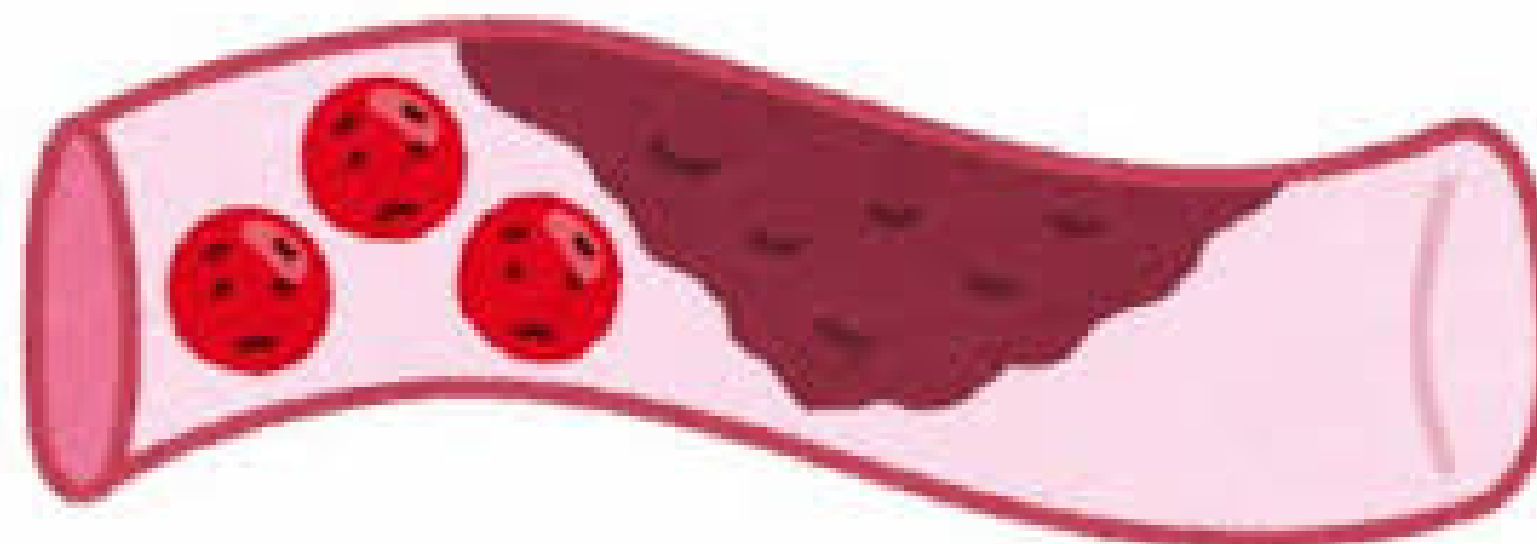
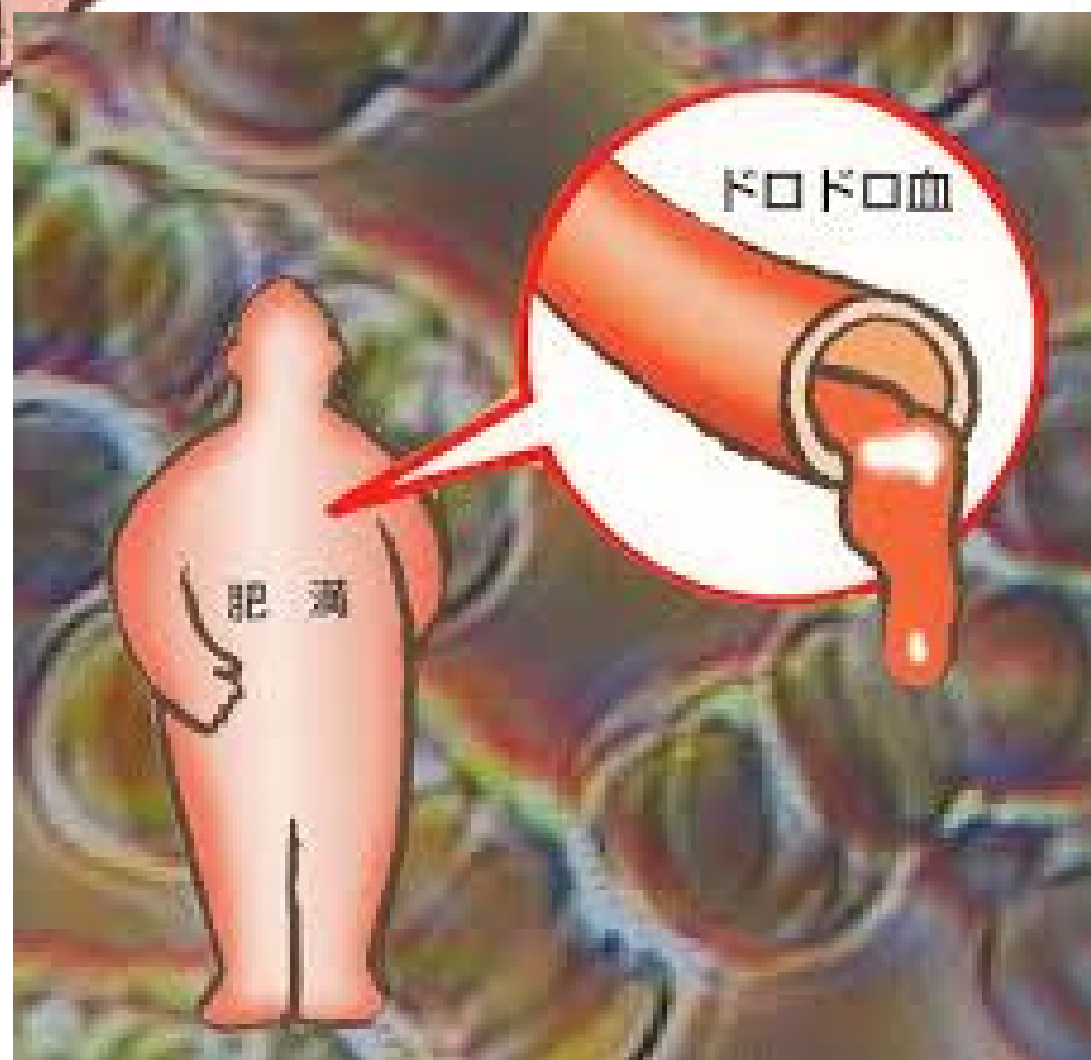
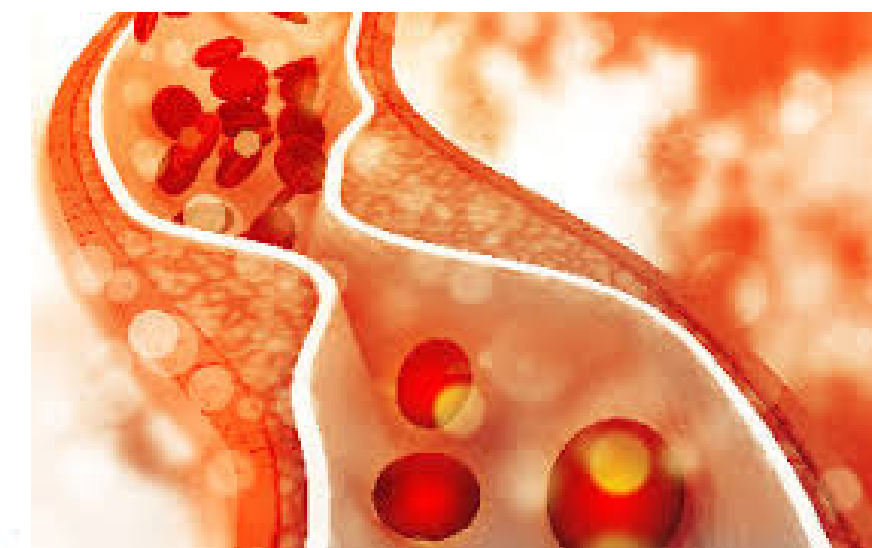
老化すると弾力を失って硬くなり、血流が悪くなります。

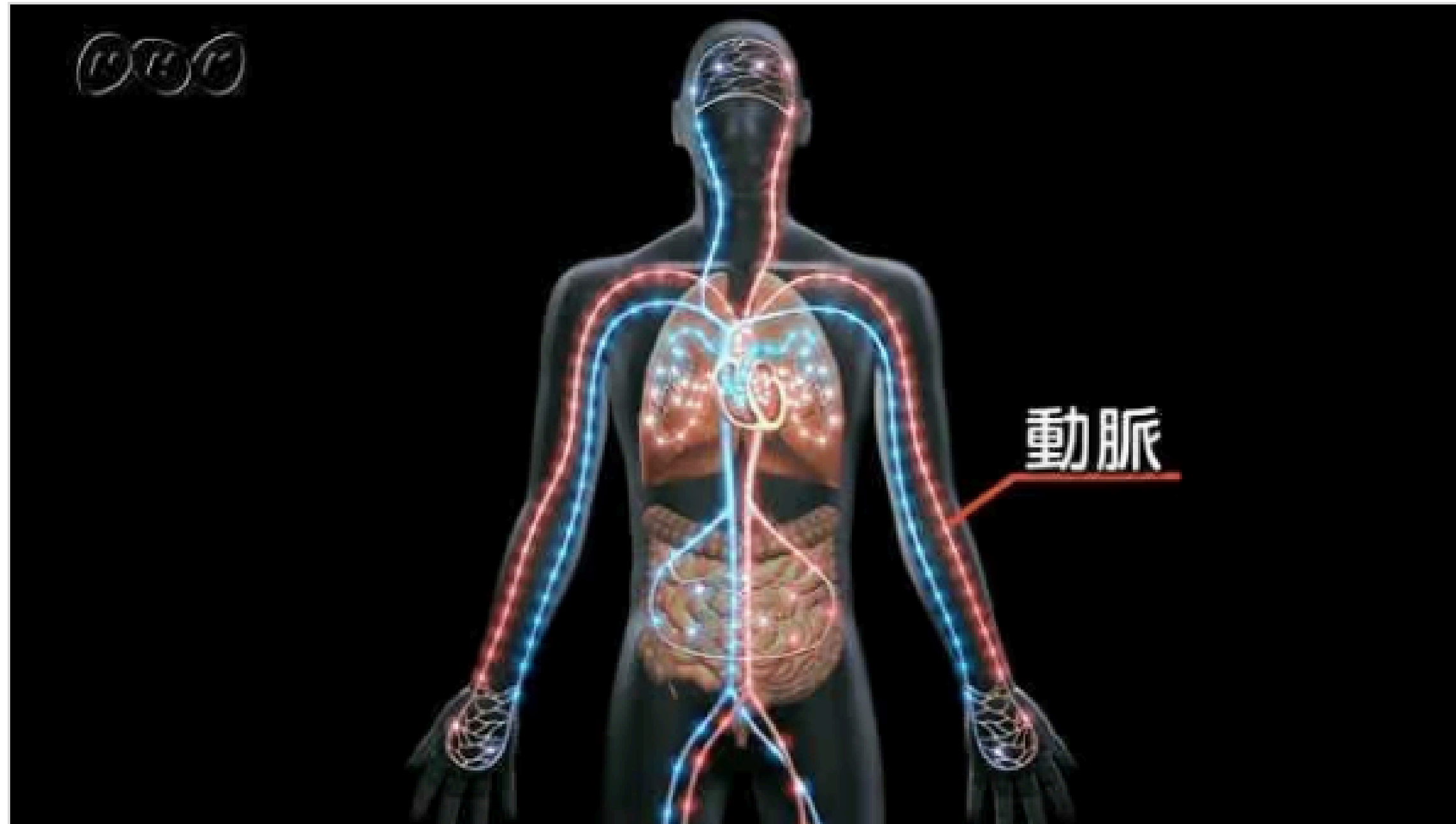
近年、実年齢より高い血管老化が進んでいます





血行不良のトラブル





血液の体循環とは？

血液の体循環について説明します。

舌は健康のバロメーター

舌は内蔵を映し出す鏡とされています。
舌を見て健康チェックをしてみましょう！



ピンク



自然な
ピンク色

正常

白



貧血、冷え
血行不良

紫



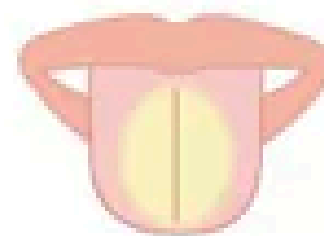
血行不良、高血圧
水分不足
冷え、ストレス

赤



熱がこもっている
風邪
心臓・肝臓の熱

黄



感染症
胃腸の疲れ、炎症
体力低下

注意！

黒



重い感染症
重度の炎症
かなりの高熱
体力低下

赤い斑点



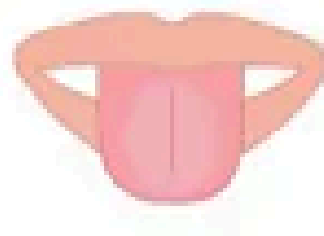
不眠症
ストレス
胃炎や肝炎

デコボコ



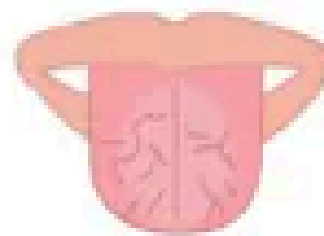
水分過多
むくみ
疲れやすい

小さく薄い



栄養不良
水分不足
お年寄りに多い

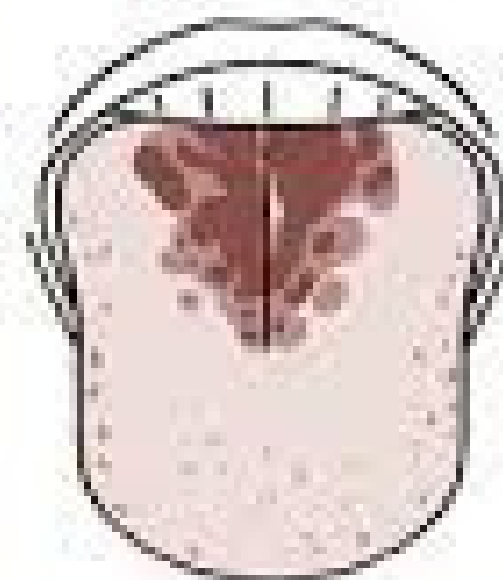
ひび割れ



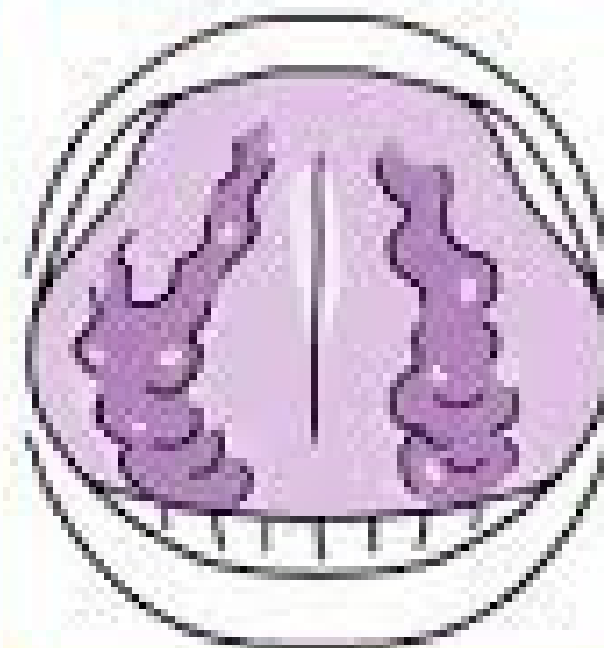
油脂分の過多
水分不足
内科疾患
ドライマウス



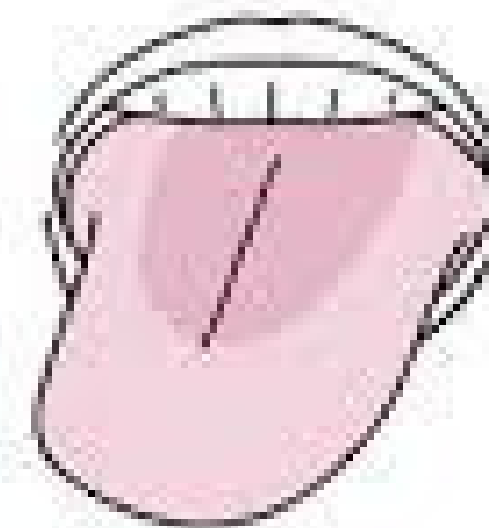
舌苔が黒い(こげ茶)



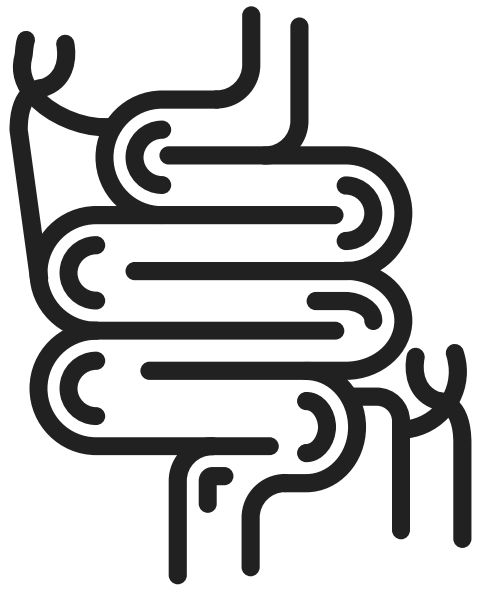
舌の裏の血管がボコボコ



まっすぐ出せない



小 腸



小腸は、胃や十二指腸で消化された食べ物をさらに分解し、
栄養素を吸収する胃から送られてきた消化物をさらに細かく分解する
水分と栄養分の80%を吸収する 栄養素を血液にのせて全身に運ぶ
小腸はのばすと全長6～7メートルあります。

内側の粘膜を広げるとテニスコート1面くらいになる。

小腸には絨毛という固有の突起構造があり、食べ物の消化吸収します。

血液・ホルモン・免疫を作り、命を守ってくれます

小腸では「セロトニン」と呼ばれるホルモンが生成され、
気持ちを落ち着かせ、幸せを司る作用があります。
善玉菌を優位にすることで、小腸の働きをよくして
セロトニンの生成を促進することができます。



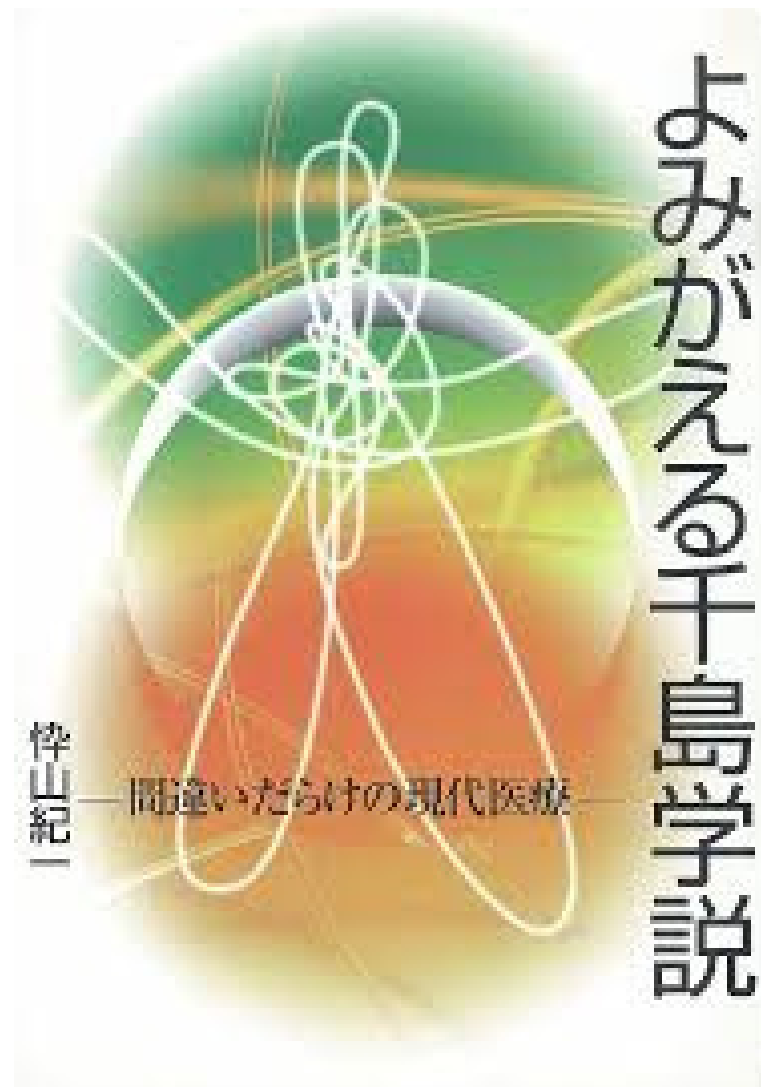
千島学説 千島喜久男博士

1932年から1959年にかけて医学観として、1963年に提唱された。

造血器官は小腸絨毛である。骨髓を造血器官として認めない

(骨髓造血説には矛盾があり、造血器官は小腸の絨毛である)との主張。

精子や卵子などの生殖細胞は体の組織とは別物ではなく、赤血球が変化してできる(生殖細胞の血球由来説)との主張もなされる。



昔なら異端者として投獄や火焙りの刑などに処せられたことであろう私が、定年後今もって、異説を唱えこうして生きのびていられることは、上司の厚意、時代の変遷、そして天の恵みによるものと有り難く思っている次第である。

私の歩んできた道…より

